

キラリ

酒田市農業委員会報 No.64



「鳥海山の自然を感じながら～鳥海高原デーリィファーム～」(八幡 草津地区)

特集

鳥海山の雄大な自然環境に誕生!!～鳥海高原デーリィファーム～ (2、3面)

キラリな女性 ^{ひと}かがやく女性農業者 教えてキラリン (4面)

若手農業者リレーエッセー かぜ (5面)

農業一筋 おしらせ (6面)

令和4年 秋季号

鳥海山の雄大な自然環境に誕生!!

～ 鳥海高原デーリィファーム ～



酒田の酪農家は減少傾向にあり、飼養頭数も小規模な農家が多い状況にあります。このような状況の中、国の畜産クラスター事業を活用し、(株)鳥海高原デーリィファーム等が八幡・草津地区の旧鳥海高原牧場跡地に新たな大規模農場を整備しました。今回は、新たな農場である鳥海高原デーリィファームを紹介します。

○北海道でのノウハウを活かして 山形県内拠点に

北海道十勝地方に拠点を置くノベルズグループは、年間の出荷乳量が5万t以上（北海道1位、全国2位、2020年度）の実績を持つ国内屈指の畜産・酪農企業体です。

ノベルズグループでは、鳥海高原デーリィファームと酒田DF育成牧場という2つの牧場を立ち上げ、この2つの牧場を核として、搾乳牛の増頭や生乳の増産による酪農事業の拡大、和牛子牛の生産による県内の肥育素牛自給率の向上を通じて、地場産業の振興や地域雇用の拡大に取り組みます。

○乳肉一貫複合型で 効率的かつ大規模に

ノベルズグループの生産技術最大の特徴は、生乳を生産するホルスタイン種である乳牛に、自社生産の黒毛和種の受精卵を移植して、和牛の子牛を生産することです。この技術は、2つの牧場の連携の中でも展開され、生乳の生産と市場価値の高い和牛子牛の



最新鋭の搾乳ロボットが設置されたロータリーパーラー

生産という収益の二元化を実現する生産方式です。

○酪農は鳥海高原デーリィファーム
鳥海高原デーリィファームには、北海道で培われたノウハウが活かされる予定です。

飼養予定数は乳牛900頭。牛舎3棟で飼養されます。搾乳舎は2か所あり、現在稼働中のミルクパーラー1基のほかに、国内でも最新鋭となる搾乳ロボットが設置されたロータリーパーラー2基で効率的に搾乳することで、高品質な生乳を生産・出荷する計画です。

○育成は酒田DF育成牧場

鳥海高原デーリィファームの乳牛から生まれた子牛は、酒田DF育成牧場で肥育素牛の出荷年齢で



ある約9か月齢まで飼養されます。子牛の出荷頭数でも全国最大規模の実績を持つグループの山形県内拠点として、市場や相対取引を通じて県内肥育農家などへ出荷し、県産和牛のさらなるブランド力の向上に貢献する計画です。

○資源循環型農業を目指して

鳥海高原デーリィファームの敷地内には、庄内地域で初となる家畜排せつ物を使ったバイオガス発電所が建設されています。

メタン発酵発電と同時に生産される消化液（有機液肥）を飼料畑へ供給することで資源循環型農業を目指します。また、農場内で生産される堆肥についても飼料畑に還元する計画です。

○酒田の酪農シンボルとして期待

今後は、酪農経営はもろん生乳を使った加工品の開発など、酒田の地域経済の発展に繋がっていくことが期待されます。

Q 1日に搾られる牛乳の量はどのくらいですか？

A 鳥海高原デーリーファームでは牛一頭あたり約35kgの生乳が搾られています。最終的には牧場全体で25t / 日以上の生乳を搾ることを目標にしています。



Q&A



鳥海高原デーリーファーム
なわ
名波さんに
キラリンが



牧場のことをいろいろ聞いてみた

Q 搾られた牛乳は何に使われていますか？どこで飲むことができますか？

A 搾られた生乳は山形県内の乳業メーカーさんに出荷され、牛乳として商品化されています。パーなどで売られています。今後は田村牛乳、鳥海高原ヨーグルトの原料としても使用してもらえよう、関係者の皆様にご協力頂きながら準備を進めています。

Q 牛は1日にどのくらいのエサを食べますか？

A 牛は一日あたり50〜60kgのエサを食べています。また、エサとは別に100L以上の水も飲みます。



Q 牧場の周りに植えられている作物は何ですか？

A 牛のエサとなるともろこしを植えています。スウィートコーンのように甘くないので、人は食べられません。

Q 牧場では何人働いていますか？どんな仕事をしていますか？

A 現在は鳥海高原デーリーファームでは若い人を中心に13名ほど働いています。これから牛の頭数も増えていくことから、最終的には30名以上の方に働いてもらう予定です。

仕事の内容は、搾乳(牛の乳搾り)、エサ作り、分娩(子牛を産ませること)、診療(病気の牛の治療)など様々です。



Q 北海道・十勝地方と比べて酒田の気候(冬)はどうですか？

A 北海道十勝地方は最低気温がマイナス20℃を下回ることもしばしばで大変厳しい環境ですが、酒田の雪の多さや強風、地吹雪を経験して、北海道以上に厳しいのでは？と感じています。特に鳥海高原の冬は物凄いです…。

Q 酒田の街、人はどうですか？(どのように関わっていききたいですか？)

A 海もあり山もあり自然豊かでのどかな風景、そして食べ物が美

味しいと私も他の県外出身の牧場スタッフもみな、酒田の街を大変気に入っています。

また、酒田の人は優しく親切で面倒見の良い方が多いので、すぐにたくさんの方の友人ができ、今では居心地が良くて、私ももう酒田の人のつもりです。

牧場立ち上げの計画段階から、数え切れないほど沢山の方々にご支援、ご協力を頂きながら牧場を作ってきましたので、その恩返しの意味も込めて、「牧場(鳥海高原デーリーファーム)が酒田の街にできて良かった」と一人でも多くの方々に思ってもらえるようにこれから益々頑張っていきたいです。



Q 牧場に遊びに行くことはできますか？

A 牛を伝染病などの病気から守るため、一般の方の牧場内への入場は固くお断りしています。ご容赦下さい。

キラリな女性^{ひと}かがやく
女性農業者

『チャレンジ精神』

代 佳 中
藤 佐 濱

私は、結婚を機に農業を始めて今年で4年目になります。

稲作ではありませんが、実家も農家をしていましたこと、結婚するまでホームセンターで働いていたこともあり、私の中で農業はとても身近に感じていました。

しかし、実際に農業を始めてみると何もわからず、言われたことをするのが精一杯で、少し違う作業をするだけで筋肉痛になりました。2年目からは、徐々に仕事に慣れ、気持ちにも余裕が出てきたように思います。

我が家では主にメロン、ケイトウ、ストック、ほうれん草を育てています。現在はメロンの時期で、収穫、箱詰め、発送、配達と日々忙しく作業しています。メロ



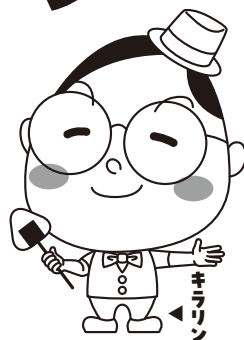
ンの品種は主に、青肉はアンデス、グレース、赤肉は赤いアンデス、夏のクインシーを栽培しており、農協やイオンへ出荷し、自宅から全国への発送もしています。皆さんに美味しかったと言ってもらえると、何よりも嬉しく、頑張つて良かったと思います。すし、今後の励みになります。私がメロンの作業の中で一番好きなのは摘芯作業で、時間も瞬きも忘れるくらい没頭しました。

まだまだ私のできる仕事は少ないですが、日々一生懸命に働き、仕事を覚え、主人や義父母からたくさん学んでいきたいと思っています。そして、これから啓翁桜やシャインマスカットにもチャレンジしていきたいと思っています。

農地に関するはてなを解消

教えて

キラリン



このコーナーでは、農地に関する素朴な疑問・質問に、キラリンがお答えします。

今号のテーマ

農地転用

農地は農地として利用することがいちばんの基本です。

Q 農地転用ってなに？

A 農地を農地以外の用途にかえて使用することを農地転用といいます。農地を住宅や駐車場、資材置場、再生可能エネルギー施設（太陽光パネル等）、山林などの用途に転換することがあてはまります。農業委員会への許可申請または届出が必要です。

Q 一時的に転用するだけなら申請は必要ないですか？

A 農地を一時的に資材置場や工事現場事務所、砂利採取場などとして利用する場合も転用

になり、許可申請または届出が必要です。

Q 許可申請・届出すればどこでも転用できるの？

A 用途や場所、状況によっては転用できない農地もあります。農地法以外の法令の規制を受ける場合もあるので、まずは、農業委員会へ事前に相談が必要です。

Q 違反転用した時はどうなるの？

A 農地法に違反することになり、農地の所有者を含め、違反転用者には厳しい措置が取られます。工事の中止や原状回復等の命令がなされる場合があります。

Q 罰則はあるの？

A 【個人】3年以下の懲役または300万円以下の罰金
【法人】1億円以下の罰金

○農地のことは

市農業委員会事務局

TEL. 26-5767



かぜ

～若手農業者リレーエッセー～



私は3年程前まで、清掃関係の営業職に就いていました。ふと40歳手前にこれからの人生を考えました。そこで考えついたのは、事業主になることと地元のもの県外に発信していくことでした。そこで農業にたどり着きました。ですが、知識はさほど無く、あったのはざつくりとしたビジョンと10年程前に親戚で手伝った農作業の経験だけでした。まず、妻に相談しました。すぐに却下されました。諦めきれず、農業関係の仕事に就く弟、個人農家さん、生産者と繋がりのある取引先から情報をかき集めました。そして妻を説得しました。かなりの労力を使いました。いざ就農と向かいますが入口が分かりませんでした。最終的には、生産

仕事できる環境に感謝し チェンジを忘れない

上田地区（松原南在住） 梅津圭介

者と繋がりのある取引先の方から繋がり、今の法人を紹介してもらいました。現在、米、枝豆、ストックを生産しています。就農最初の年は多少の知識しか無かったため、何を聞いても新鮮でした。聞くこと以上にたくさんの知識をつけたいと、新庄にある農林大学校にも通いました。農耕用の大型特殊の免許も取得しました。1年間もあつという間に終わり、流れも覚ええました。今年3年目になります。知識も増え作業も慣れてきました。来年度は個人で生産することとホームページを作成し販売、営業にも力を入れていきたいと考えています。

最後に農家は土地があつて成り立っているという部分が大きいと考えています。法人の土地主、法人構成員に感謝し仕事に就いていきたいと思えます。



農業者年金に加入しましょう

老後の生活をしっかりサポートします。
農業に従事する方なら、広く加入いただけます。

*** 農業者年金のメリット ***

- ① 少子・高齢化時代に強い積み立て方式
- ② 保険料の額は自由に決められます
- ③ 終身年金で80歳までの保証付き
- ④ 保険料は全額社会保険料控除
- ⑤ 保険料に国庫補助も（要件があります）

全国農業新聞 農家の経営とくらしに役立つ情報を農業者の視点でお届けします

- 発行日 毎週金曜日
- 購読料 1か月 700円

※お申し込みは農業委員会へ

～世代を超えて食べて守ろう 伝統野菜～

～酒田の在来作物を紹介～

『カラドリ芋』

酒田では古くから水苗代で栽培されてきたカラドリ芋は、ズイキ芋、ジキ芋などと呼ばれる里芋の一種です。芋はズイキ、茎をカラドリと呼び分けている地域もあります。

茎は和えものに、濃厚でねっとりとした食感がおいしい芋は煮物や汁物にと余すところなく食べられます。茎を天日に干したものはイモガラと呼ばれ、冬の保存食になります。特に正月の納豆汁、雑煮には欠かせない食材です。

少しえぐ味があるので、気になる場合は流水にさらす時間を長くし、えぐ味をぬきます。





農業委員会がおじやまして

お聞きしました！

平田 砂越地区

東海林 正 順子 ご夫妻



「長く農家を続けてきたなかで、支えてもらった皆さんののおかげで立派なつや姫

ができ、陛下に献上できたことは大変うれしかった」と笑顔で話す正さん（82歳）、順子さん（80歳）ご夫妻。平田地区が昭和56年以来、40年ぶりに生産地に選ばれた令和3年度に、東海林さんが米の献穀者の大役を担いました。

農業経営は水稲を中心に約6畝。指導農業者でもあった正さんは昭和33年の18歳の時に就農したそう。当時は労力確保に苦労され、結婚されるまでの2年間は正さんと臨時雇いの綱渡りの営農だったそうです。そして、労力と時間の不足を補うため、日々進歩する農機具を使いこなし、農薬、特に除

草剤を効率的に活用して工夫されていたそうです。

畑で野菜作りを担当している順子さんは「自分で食べるものは自分で作る」の自給自足がモットー。「朝に畑で収穫してきてすぐに食べる野菜は格別においしい」と話します。

農業以外では町議会議員や農業委員などを務められ「農作業を休んで役をこなしてきた。妻には迷惑をかけた」と話す正さん。現在も地元の神社と寺の役員を任せられるなど、地域のリーダーとして順子さんと二人三脚で地域発展のために日々過ごされています。

農業を長く続ける秘訣は、「体を労わる」と話すと二人。これからも元気で活躍ください。（土田 治夫 委員）



おしらせ

農地中間管理事業

今年度の予定

令和5年から借り受け・貸し付け（経営移譲）したい場合は期限まで申し込んでください。

・申込期限

10月31日(月)

・申し込み

酒田市農業委員会事務局、庄内みどり農協各営農課、酒田市袖浦農協へ。

※本事業は白紙委任です。貸し付けする相手が決まっている場合は、窓口でご相談ください。

・各種変更届

すでに契約されたものの各種変更手続き（名義、住所、振込口座、借賃などの変更）も忘れずに手続きしてください。

「収入保険にご加入ください」

「収入保険」は、全ての農産物を対象に、自然災害による収入減少に加え、市場価格の低下、病気やケガ、新型コロナウイルスの影響なども含めた経営努力では避けられない「収入減少を補償する」

農業保険です。

収入保険へ加入して、方が一に備えましょう。

〒0234-9115 53 山形県酒田市山形庄内支所

0234-911553

編集後記

農業委員は、農地の貸付希望・耕作希望の情報収集活動及び、耕作放棄地を解消し担い手への農地集積・集約化へ向けた取り組みを行っております。集積が進む中でも、農村集落の現状を基に地域住民と農家が共に手を取り合い、地域環境保全活動への取り組みを実施しています。

今年度は春作業期、6月の低温にあたり生育の停滞も心配されましたが、梅雨も早く上がり例年並みの稲姿になり安堵した覚えがあります。盛夏の中での猛暑日もあり、作柄が心配されるところです。地域差はあるもののこれも気温変動によるものと危惧しているものです。

いよいよ9月に入り待ち望んだ収穫時期に入りました。皆様、事故怪我の無いように実りの秋を迎えてもらいたいと願います。

（石川 渡）